



検証費用 改訂のお知らせ

CUDOは2011年10月31日 検証費用を改訂し発表をいたしました。

お陰さまでCUDの重要性は社会に広がり、CUDOが認証する「CUD認証マーク」の認証発行業務は開始して以来既に7年が経過し、多くの企業・団体の皆様からのご賛同を得ています。

この度これまでの実績と経験をベースにして検証費用を下記のとおり改訂いたしました。この改訂は新しい費用体系を導入して費用の低減化と検証作業のスピードアップを図る内容になっています。特に印刷物においては「予備検証+本検証」と分けてきた検証を「検証」として一本化し、検証の迅速化と精度向

上を図ります。今までスケジュール的に難しかった広告などの案件に関してもマークが取得しやすくなりました。また、特別普及価格として、カレンダー・ポスター・チラシ・パッケージ等に関しては表の()内の費用が適応されます。

CUDOは今後も社会的ニーズに応え、更なる充実を目指して参ります。皆様におかれましても一層のご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

実施年月日 2011年11月1日の新規発注より
※より詳しい内容は担当者へお問合せ下さい。

(事務局)

印刷物の検証費用と検証作業期間(基準)

ページ数	検証費用 ()は特別普及価格	検証期間	再検証費用		
			初回	2回以降	期間
1p	40,000 (20,000)	2日	12,500	2,500	2日
2p	40,000 (30,000)	3~5日	12,500	2,500	3日
3~8p	45,000	3~5日	25,000	5,000	3日
9~24p	60,000	3~5日	50,000	10,000	3日
25~64p	80,000	3~5日	50,000	10,000	3日
65p~	80,000 + @650	3~5日	50,000 + @650	10,000 + @130	3~5日

機器・製品等の検証費用(基準)

検証対象物	予備検証費用	検証費用
信号機・LEDの色判別、色表示確認等	20,000	40,000
検証員が単独で検証を行うことができる一般消費者向け機器・製品等	40,000	80,000
企業内で使用する機器、専門性が高い機器・製品等	60,000	120,000 ~

※上記(印刷物、機器・製品等どちらも)はあくまで基準の費用となっております。検証費用は対象物によって検証内容が異なるため、事前にサンプル等をご送付いただき、個別に見積をさせていただきます。

株式会社Z会

教材編集部 編集支援課 編集担当
清水 幹雄



聞き手 ク) CUDO 話し手 清) 清水幹雄

ク) まずはCUDとの関わりから教えてください。

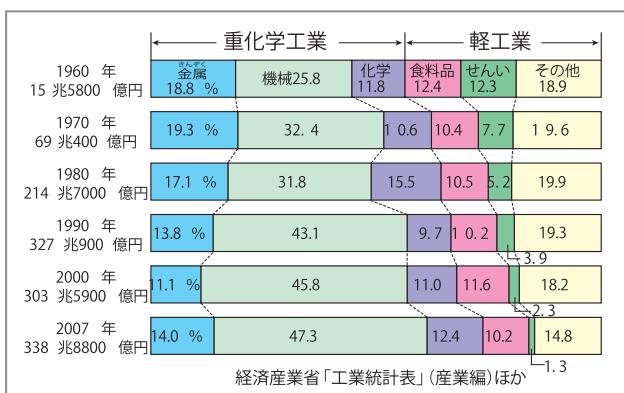
清) 当社は通信教育を中心として教材提供と教室での指導、そして参考書や問題集を作っています。これらの教材は以前は白黒印刷か2色刷でした。2色刷の書籍でも緑色やオレンジの小さい色文字やスミアミの上の色文字が見づらいという意見がありました。2000年ごろ、フルカラー印刷が多くなり小学生の保護者から社会や生活分野の地図や街図の色の塗り分けなどが子供に見づらいことがあるが、どのような対策をしているかといったお問い合わせを頂きました。私の前任者が書籍デザインの色遣いについて調べている内に、CUDOのコンサルティング事例を見つけ、訪問して具体的な取り組みについてミーティングを持ちました。実際の小学生向けの教材をみてもらい改訂時から直すことにしました。

ク) 具体的にはどのような事をなさったのでしょうか。

清) 2008年に勉強会としてCUDセミナーを開催しました。社内の編集者やデザイナーは色弱者の置かれている状況、カラーユニバーサルデザインという取り組みの存在を知りました。ではどうしてゆくかということで、まずは理解のためにバリアントールを購入し、当時の業務支援課でDTP、入稿ルールと共にとりまとめました。

ク) ツールとして検討されたのは?

清) バリアントールの他には東洋インキのシミュレータを使ったり、CUD推奨配色セットを併用しながらグラフの配色に使ったりしています。



上のグラフは資料として提供いただいたものです。グラフの種類によって異なったチェック項目をお持ちで、上のグラフには色への配慮以外でも以下の内部チェックが適応されています。

- ①グラフ推移をガイド線で示す
- ②凡例を使用せず、直接項目を表示

まだ全部の制作のワークフローにチェックを入れるようになつていません。内容をチェックする人が見識を持つていればいいのですがスルーしてしまうこともあり、そうなつてしまふ場合には、次回の改訂時に修正するようにしています。

こうして永くやつていますと、問題になりそうな点が分かる、勘所が分かるようになります。色を使わなくとも良いところが分かってきます。黒文字の中の赤文字なども使わなくなります。外部にデザインを依頼すると緑の葉に見分けにくいドングリの配色されたイラストがきたりしますけど。社内では新人や技術の向上のための研修の中でシミュレーションなどを使ってCUDについて話しています。

ク) 取り組みの課題などはいかがでしょうか。

清) 社会科の地図や説明図の色遣い、グラデーションは難しいですね。地図の塗り分けなどは平地は緑で高地は茶色に海は青という範囲での色を使いながら多くの種類があつたりします。CUD推奨配色セットを使っても紙色や紙質が変わるとマッチしませんし、プリントオンデマンドでは彩度の高い色は出ないという問題もあります。また当社では教材を添削して返却する際にスキャンして戻すのですが、色が変わってしまうこともあります。同様に今後の教材などを電子書籍化するにあたりCUD化の推進からあまり微妙な色遣いをすることは考えたいと思っています。

ク) 「Z会のCUD宣言」をHPで告知しましたね。

清) CUDOの企業賛助会員になって、社員全員の名刺にCUDマークと表示を入れました。外部の反応も大きいですよ。印刷会社や出版社、編集プロダクションなども注目しています。オフィシャルサイトのデザイン自体もCUDマネジメントを行いCUD検証後合格しましたので継続的にマーク表示しています。色遣いはコーポレートカラーの青をプライマリーカラーとして構造的に設計しています。

ク) 実際の教材としてはどうでしょうか。

清) たとえば2色刷にも色の見分けやすさがあるということで、CUD検証し、多くの候補の中からより分かりやすい色を選択しました。現在はその中からシアン・オレンジ・グリーンをよく使います。広い面積の蛍光のオレンジはまぶしい人がいることなどもわかり細かい調整をしています。幼児コースの教材「ペあぜつと」では幼児教育の中で色を扱うことになりCUDOに相談して紙面を作りました。

ク) 今後の取り組みはどうでしょうか。

清) 暗記用のカラーシートですね。従来製品でP型の人には隠してない文字まで非常に読みにくいうことがわかりました。こちらは赤い色の標準化を考えておりインキの色の調整が検討段階です。今後は公共教育と私教育、教育産業各社が手を取り合って気づきの中から次世代の教育を開くことが必要だと思っています。

混同範囲の簡易テスト

「紅葉と新緑」配色版(橙と黄緑)

CUDOでは、日々の検証業務の中でよく見られる混同色に目をつけ、使用できる組合せを探るテストを行いました。よく見られる混同色というのは、デザイナーが使いたい配色なのかもしれません。このコーナーでは使いたい配色を実現していただくために、混同する組合せとそうでない組合せを導きだす簡易の官能検査の結果をお知らせいたします。今回取り上げた配色は混同配色として代表的な橙と黄緑の2色です。

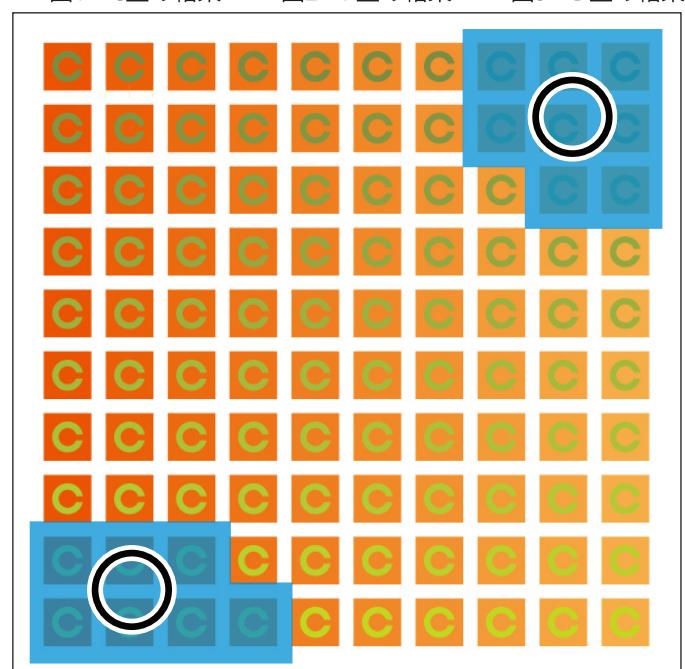
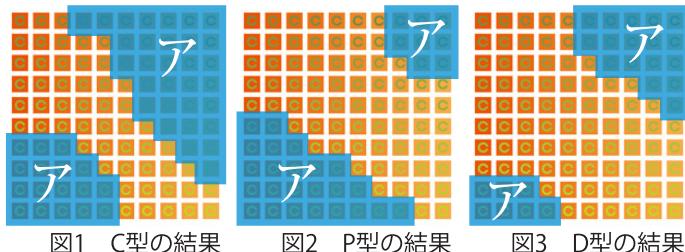
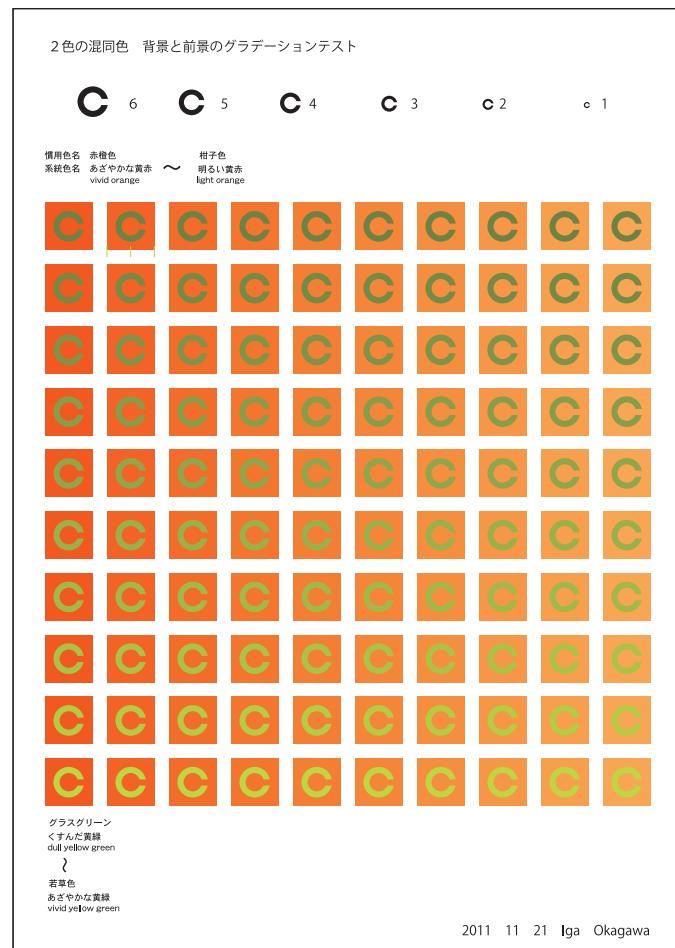
<テストの要素>

JIS慣用色、系統色にて定義されている橙と黄緑の範囲で一番明るいものから一番暗いものを選択し、10段階のグラデーションで配置をしました。背景色に橙(JIS系統色名あざやかな黄赤～明るい黄赤)を配置し、前景色に黄緑(JIS系統色名あざやかな黄緑～くすんだ黄緑)を配置しています。前景色の形はランドルト管を用い、1.0の視力が測定できる位置から、「右が開いているのが分かる」範囲を示してもらいました。被験者は、一般色覚者のC型、色弱者のP型、D型です。それぞれ分かれる範囲を示してもらい、なるべく多くの方に見分けやすい橙と黄緑の範囲を簡易的に導きました。

<結果>

図1～3の「ア」が、各色覚タイプの被験者の「右が開いているのが分かる」範囲です。各タイプの結果の集計が下段の図4となっています。タイプごとに苦手な組合せはありますが、3タイプ全ての被験者が分かると判断した「○」の組合せはこんなにも多くありました。この配色を「紅葉と新緑」と名付けました。親しみつつ注意して使用していただければ幸いです。シミュレーションではこういった部分をチェックすることはできますが、実際の色弱者の目を使った配色の限度見本はまだ世の中にありません。

今回の簡易テストは背景色と前景色に限定されています。反転させたものや、2色を一定以上離した場合もテストする必要があります。また、照明条件の考慮など実際的なデータとするには細かい条件をさらに付ける必要がありますが、こういった実験の最初の一歩として本テストを行いました。本会報では今後もテストを行い、デザイナーの一助となるデータを少しでもご提供できればと思っています。(事務局)



news

キヨクトウの「かんがえる学習帳」発売

株式会社キヨクトウ・アソシエイツは2011年12月1日、時間割にあわせてノートの準備がしやすいように、カラー ユニバーサルデザインに配慮された学習ノート「かんがえる学習帳」(科目別6色)を発売されました。

児童の学びを楽しく、わかりやすくサポートするべく制作された本製品は、小学校低学年用と高学年用に2種類のデザインが採用されており、表紙デザインからコンテンツ内容まで多岐にわたる配色設計において、カラーユニバーサルデザインを取り組んだ、全62種類のカラフルな学習ノートとなっています。昨年行われた発表会では、ご来場頂いた多くの方へカラーユニバーサルデザインをご理解いた



特別体験ブースのようす



発表会の一場面

だけるよう、バリアントール等色弱シミュレーションツールを用いた特別体験ブースを設けて頂きました。体験をされた教育・文具関係者の皆様からは、製品のカラーユニバーサルデザイン対応に際し多くのご賛同を頂き、発表会は大盛況となりました。本製品は2012年より全国の文房具店等で購入が可能です。

(事務局)

認証取得

最近CUDマークを取得した事例をご紹介致します。(順不同)

株式会社デュプロ
"デジタル印刷機 DP-U550a"
duplo.com

株式会社キヨクトウ・アソシエイツ
"新学習帳『キヨクトウのかんがえる学習帳』"
<http://www.kyokuto-note.co.jp/special/kangaeru/>

株式会社イセトー
"高山信用金庫
総合口座通帳、普通預金通帳"
<http://www.takashin.jp/>

株式会社イセトー
"関信用金庫
総合口座通帳、普通預金通帳"
<http://www.sekishinkin.co.jp/>

オリンパスイメージング株式会社
"OLYMPUS PEN The 3rd Generation
E-P3, E-PL3, E-PM1"
<http://olympuspen.com/jp/>

株式会社 キャットアイ
"ホタルチューブ"
<http://www.cateye.com/jp/>

雑誌、新聞に掲載されました

毎日新聞 11月18日付

http://mainichi.jp/area/hyogo/news/20111118ddl_k28040469000c.html



編集後記

既に秋ではなく冬の季節に入りましたが、今年は気温が例年より高い日が多い為か、比較的長く紅葉を楽しむことができました。

ごく個人的な感覚なのですが、昨年の早春の頃、登山をした時に初めて春の山で紅葉を楽しみました。「春に紅葉!?」と訝しく思われるかもしれません、異常気象でもなんでもありません。D型の特性で新緑の黄緑が橙に見えていたのでした。紅葉と新緑を判別できないケースがあることなど全く自覚していなかったため、私自身驚かされましたが、美しい自然をいつもとは違った角度で堪能することができました。改めて「世界の見え方」が多様であることを再確認させられました。

皆様、寒い季節となりますのでお体をご自愛ください。

SEASON IN THE CUDO No.7 秋号 2012年1月17日発行
発行元:NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-5昌平橋ビル3階
TEL/FAX: 03-6206-0678
発行人:武者廣平